DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

B-MANU200712-01

I·O DATA

DVR-H42LE

この度は、「DVR-H42LE」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

動作環境の確認

項目	内容
対応機種※1	本製品が取付可能なドライブベイ（5インチベイ）とIDEインターフェイス※2を搭載したDOS/Vマシン
対応OS※3	Windows Vista™※4/Windows XP※5/Windows 2000 Professional/Windows Me※6
搭載CPU※3	Pentium III 450MHz以上
メモリ※3	128Mバイト以上
ハードディスク※3	空き容量 250Mバイト以上（イメージファイル作成時に最大8.5Gバイトの空き容量が必要です。）
対応メディア※7	●DVD：DVD+R※8、※9、DVD+RW、DVD-R※9、※10、DVD-RW、DVD-RAM※11、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※12

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速（最大18倍速書き込み※15）	三菱化学
	16倍速	ソニー、日立マクセル
	8倍速（最大12倍速書き込み※15）	太陽誘電
	8倍速	ソニー、日立マクセル、三菱化学
2層DVD+R	8倍速（最大10倍速書き込み※15）	三菱化学
	2.4倍速（最大6倍速書き込み※15）	日立マクセル、三菱化学
	2.4倍速	リコー
DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
	4倍速	三菱化学、リコー
1層DVD-R※13	16倍速（最大18倍速書き込み※15）	三菱化学
	16倍速	ソニー、日立マクセル
	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R	8倍速（最大10倍速書き込み※15）	三菱化学
	4倍速（最大6倍速書き込み※15）	三菱化学
DVD-RW※13	6倍速	三菱化学
	4倍速	三菱化学
DVD-RAM※14	12倍速	日立マクセル
	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	太陽誘電、三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。 **http://www.iodata.jp/pio/**

※2 Ultra ATA/66 以上対応の IDE ケーブルをお使いください。

※3 DVD メディアへ 12 倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz 以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66 以上 (DMA 転送モード) または Serial ATA で接続されたハードディスク
●OS：Windows XP Service Pack 2
●メモリー：256M バイト以上
●チップセット：Intel 915 以降

※4 32 ビットに対応しています。また、Windows Vista™の OS の動作環境を満たしている必要があります。

※5 「B's CLiP」をご利用になる場合は、Service Pack 1 以降がインストールされている必要があります。

※6 「B's Recorder GOLD 9 BASIC」で暗号化した DVD の暗号を解除する場合、Windows Vista™/XP/2000 Professional が必要です。

※7 ●書き込みは 12cm メディアのみ対応しております。
●DVD・CD への書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※8 2 層 DVD+R メディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※9 2 層 DVD±R メディアに「B's CLiP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※10 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※11 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および 2.6G バイト / 面のメディアには対応しておりません。

※12 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※13 「B's Recorder GOLD 9 BASIC」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。

※14 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※15 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

ご注意

●本製品はドライブベイ（5インチベイ）搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。

●取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご使用いただけます。

●DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。

●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

製品仕様

項目	内容
ドライブ名	GSA-H42N(OEM供給元：株式会社 日立製作所)
インターフェイス仕様	ATAPI（Ultra DMA Mode 4）
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載
適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2 (form1、form2)、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD

最大書き込み/読み込み速度

DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
書き込み	×18	×10	×8	×18	×10	×6	×12	-
読み込み	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16(1層) ×12(2層)

CD	−R	−RW	ROM
書き込み	×48	×32	-
読み込み	×48	×40	×48

項目	内容
平均アクセスタイム	●DVD-ROM：145ms　●DVD-RAM：200ms ●CD-ROM：125ms
書き込み方法	●DVD+R：Sequential Recording ●DVD+RW：Random Write ●DVD-R：Disc at Once、Incremental Recording ●DVD-R DL：Disc at Once ●DVD-RW：Disc at Once、Incremental Recording、Restricted Overwrite ●DVD-RAM：Random Write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Write
アナログライン出力	0.7Vrms
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5〜+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%〜80%（結露なきこと）
外形寸法	146(W)×165(D)×41.3(H)mm（フロントベゼル含まず）
質量	約750g（本体のみ）

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

〈危険、警告、注意表示〉

表示	内容
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〈絵記号の意味〉

- この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 ＜例＞「発火注意」を表す絵表示
- この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 ＜例＞「分解禁止」を表す絵表示
- この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 ＜例＞「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危険

分解禁止 **本製品を修理・改造・分解しないでください。**
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠ 警告

厳守 **本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。**

電源プラグを抜く **煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。**
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

発火注意 **本製品を取り付ける場合は、本書「セットアップガイド」で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。**
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
●接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守 **本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず本書「セットアップガイド」で取り付け/取り外し方法をご確認ください。**
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因になります。

禁止 **本体を濡らさないでください。**
火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止 **内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。**

⚠ 注意

注意 **本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。**
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止 **本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
《使用時/保管時の制限》●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所 ●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所 ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど） ●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など） ●水気の多い場所（台所、浴室など） ●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど） ●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど） ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止 **本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
●落としたり、衝撃を加えない ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

禁止 **アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。**
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止 **本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。**

厳守 **本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。 ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。 ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

厳守 **メディアの取り扱いについては以下をお守りください。**
●メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
●ひびの入ったメディアや反ってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
●メディアに異物（CD-Rメディアの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

禁止 **レンズには触れないでください。**
音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

1.準備しよう

内容物を確認します

- □ ドライブ（1台）
- ☑ DVR±R/RW/RAM セットアップガイド（本書/1枚）
- □ DVDツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
- □ 取り付けネジ（4本）
- □ ハードウェア保証書（1枚）

シリアル番号(S/N)をメモします

▼ シールサンプル
型 番 DVR-H42LE
シリアル番号：A0A0000000XX
定 格：DC5V 1.5A DC12V 1.0A
株式会社アイ・オー・データ機器

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。（例：A0A0000000XX）シリアル番号(S/N)を下記の枠にメモしてください。↓

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード
http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録
http://www.iodata.jp/regist/

ご注意　ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面

トレイ

アクセスランプ
読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。

ドライブ背面

使用しません。

電源コネクター
パソコンの電源ケーブルを接続します。

IDEコネクター
パソコンのIDEコネクターと接続するためのケーブルを接続します。

オーディオコネクター(アナログ)
市販のオーディオケーブルを使用してパソコン本体のサウンドカードと接続します。機種や環境によっては使用しない場合があります。

スイッチ
IDE機器の接続状況により設定を行います。

注意 **アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。**

2.設定しよう

スイッチを設定します

手順.1

本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
下記 IDEの基礎知識 を参考に、取り付ける場所を決めます。

IDEの基礎知識

■ IDEの仕様について

パソコン本体には、以下の２つのコネクター（プライマリー/セカンダリー）があります。

- プライマリー（PRIMARY） IDE1の場合があります。
- セカンダリー（SECONDARY） IDE2の場合があります。

上記それぞれに、IDEフラットケーブル（以下参照）を使用して、下記の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

マスター（MASTER）　スレーブ（SLAVE）　マスター（MASTER）　スレーブ（SLAVE）

■ 接続例

一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクターに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

手順.2

手順.1で決めた取り付ける場所にあわせて、本製品背面のスイッチを『マスター』（出荷時設定）または、『スレーブ』のどちらかに設定します。ご使用環境にあった設定を行ってください。

3.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.2

パソコンのルーフカバー、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.3

各ケーブルを接続します。

① IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクターに接続します。プライマリー（1系列目）またはセカンダリー（2系列目）を充分確認し、接続してください。

② 電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクターに接続します。

ケーブルを差し込むときはケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクターを破損する恐れがあります。コネクターを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクターをまっすぐにして行ってください。
ピンが折れると正常に動作しません。

① IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクターの中央にある凸部が、IDEコネクターの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクターの1ピンの向きを合わせてください。）

切り欠き部　IDEコネクター　IDEフラットケーブル　1ピン側　赤い線

② 電源ケーブル
電源ケーブルのコネクターの切り欠き部と、電源コネクターの切り欠き部が合うように挿入します。

電源コネクター　電源ケーブル　切り欠き部

手順.4

添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

4.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して［マイコンピュータ］を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認
- Windows Vista™の場合
- Windows 2000/Windows Meの場合

※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

こんなときには

パソコンが起動しない場合

［2.設定しよう］を参照し、もう一度、本製品の「マスター」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合

●［表示］メニューの［最新の情報に変更］をクリックしてみてください。
●本紙裏面【困ったときには】「パソコン接続時の問題」Q-1の対処をご覧ください。

注意事項

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●本製品を使用する際には、Windowsの転送モードをDMAに設定してください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

裏面へお進みください。

てっとり早く DVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください

データDVDを作りたい — B's Recorder GOLD9 BASIC（B.H.A） ※1、※2
データライティングソフトウェア
通常のデータCD/DVD作成に加えて、暗号化CD/DVDを作成することもできます。

ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい — B's CLiP（B.H.A） ※1
パケットライトソフトウェア
インストールすると、DVD-RAM/DVD±RW/CD-RWメディアにドラッグ＆ドロップでデータを書き込むことができます。

PDF文書ファイル閲覧ソフトウェア — AdobeReader（Adobe）
各ソフトウェアに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。

ドライブコントロールユーティリティ — QuickDrive LE（I-O DATA） ※3
パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトウェアです。

※1 他のデータライティングソフトウェアやパケットライトソフトウェアがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトウェアをアンインストールしてください。

※2 DirectX 9 がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD9 BASICのインストール時に DirectX 9 が自動的にインストールされます。

※3 本ソフトウェアは製品版 QuickDrive の機能限定版です。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください

※収録されているソフトウェアをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。（Windows Me除く）

1. 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。
   ※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可] をクリックしてください。
2. メニューが表示されたら[インストールをする]をクリックします。
3. インストールしたいソフトウェアをクリックします。
4. 表示に従ってインストールを進めます。
   ※インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。
5. インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

参考 シリアル番号/CD-Key
- ●B's Recorder GOLD9 BASIC ：
- ●B's CLiP7 ：

注意 B's Recorder GOLD ＋ B's CLiPを使用する際のご注意

●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
●2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
●2層DVD±Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
●一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
●「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止機能付きDVDを作成する場合には、本紙表面［推奨メディア］欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。
●B's Recorder GOLDのエラー回避機能のチェックを外さないでください。
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
●他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
「B's Recorder GOLD」が対応していないCD/DVDドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
●DVD±R/RWメディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが出し入れします。書き込み終了の画面が表示されるまではメディアを抜かないでください。手がはさまれる危険性があります。

DVD再生ソフトウェア等の優待販売について

本製品にはDVD再生ソフトウェアおよびDVDオーサリングを添付しておりません。本製品ご購入のお客様に限りInterVideo社製DVD再生ソフトウェアおよびUlead社製DVD作成ソフトウェア（製品版）を特別価格でご購入いただけます。購入をご希望の場合は、下記の手順で優待販売（ダウンロード販売）ページにアクセスし、ご利用ください。**※インターネット接続環境が必要です。**

1. 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。 ➡
2. メニューが表示されたら[ソフトウェア優待販売ページにアクセスする]をクリックします。

以下のソフトウェアなどがダウンロードいただけます

DVDビデオを見たい	InterVideo WinDVD 7 Platinum
DVDビデオを作りたい	DVDムービーライター DVD MovieWriter 5
ビデオを編集したい	ビデオスタジオ VideoStudio 10
	メディアスタジオ プロ MediaStudio Pro 8

注意
●本優待販売のソフトウェア以外のDVD再生ソフトウェアやオーサリングソフトウェア等をご利用いただく場合、ご使用のソフトウェアメーカー様に本製品での動作の可否をご確認ください。(弊社ではその他ソフトウェアの動作確認情報はございません。なお、ソフトウェアメーカー様には製品名「DVR-H42LE」もしくはドライブ名「GSA-H42N」での動作をご確認ください。)
●本優待販売のソフトウェアと、お客様の環境およびドライブとの組み合わせによっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
●一度「B's Recorder GOLD」で書き込みをおこなったDVD±RW、CD-RWメディアを、本優待販売のソフトウェアにてご利用になる場合は、先に「B's Recorder GOLD」でメディアの標準消去をおこなってからご利用ください。

困ったときには

パソコン接続時の問題

Q-1 パソコンに接続してもマイコンピュータ（または「コンピュータ」）にDVDドライブのアイコンが表示されない。

対処1 本紙表面を参照し、IDEケーブル、電源ケーブル、スイッチを再確認してください。
接続場所とスイッチの設定が合っているかどうか、ケーブルの接触がゆるくないかを確認します。

対処2 ドライブ文字(番号)を変更してみてください。
他のドライブ文字(番号)と重なり表示されていない場合があります。

Windows Vista™/XP/2000の場合

1. [マイコンピュータ]（または[コンピュータ]）を右クリックして表示されたメニューから[管理]をクリックします。
2. [ディスクの管理]をクリックし、右下の画面をスクロールし、DVDドライブの認識があるかを確認してください。※既存のドライブがある場合はその後に本製品が表示されます。
3. 本製品を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックします。
4. [変更](または[編集])をクリックします。
5. ドライブ文字(番号)を他の機器と重ならないように選択し、[OK]をクリックします。
6. [マイコンピュータ]（または[コンピュータ]）を開き、設定したドライブ文字(番号)が表示されているかどうかを確認してください。

Windows Meの場合

1. [マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
2. [デバイスマネージャ]タブで[CD-ROM]をダブルクリックし、本製品を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。
3. [設定]タブ⇒[予約ドライブ文字]でドライブ文字(番号)を他の機器と重ならないように予約してください。
4. [OK]をクリックします。

Q-2 B' s Recorder GOLDをインストールしたらマイコンピュータ(または「コンピュータ」)に本製品のアイコンが表示されなくなった。

対処 ビー・エイチ・エー社へお問い合わせください。

DVD/CD読み込み時（再生時）の問題

Q-1 DVDビデオが再生できない。

対処 DVD再生ソフトウェアを起動し、再生ドライブに本製品が設定されているかを確認してください。
※本製品はDVD再生ソフトウェアを添付しておりません。DVDビデオの再生には、別途DVD再生ソフトウェアをご用意ください。（Ulead社製ソフトウェアを優待販売特別価格にてご購入いただけます。詳しくは、左記【DVD再生ソフトウェア等の優待販売について】をご確認ください。）

Q-2 音楽CD、DVDビデオやデータ等が書き込まれたDVD/CDメディアが開けない。

対処1 常駐ソフトウェアを停止してください。

Windows Vista™/XPの場合

1. [スタート]ボタン（-［アクセサリ]）-［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。
2. ［名前］欄に［msconfig］と入力し、［OK]ボタンをクリックします。
3. [スタートアップ]タブをクリックし、以下の項目以外のチェックを外し、［適用］ボタンをクリックします。
   ※後で元に戻せるように現在のチェックの状態をメモ等に控えてください。
   - IMJPMIG
   - TINTSETP
   - Ctfmon
4. [閉じる]ボタンをクリックします。再起動のメッセージがでますので、画面にしたがってパソコンを再起動してください。
5. パソコン再起動後、DVD/CDメディアが開けるかどうか確認してください。正常に開けるようになった場合は**1**～**4**の手順で1つずつチェックを戻し、問題となる常駐ソフトウェアを特定し、問題となる常駐ソフトウェアのチェックを外した状態で使用してください。

Windows 2000の場合

画面右下のタスクトレイ上に常駐されているソフトウェアのアイコンを、右クリックやダブルクリックして［停止］、［終了］、［無効］等にしてください。問題となる常駐ソフトウェアが特定できた場合は、問題となるものを止めた状態で使用してください。

Windows Meの場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
   ［名前］欄に［msconfig］と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
2. [スタートアップ]タブをクリックし、「SystemTray」以外のチェックを外し、［OK］ボタンをクリックします。
   ※後で元に戻せるように現在のチェックの状態をメモ等に控えてください。
3. パソコンを再起動します。
4. パソコン再起動後、DVD/CDメディアが開けるかどうか確認してください。正常に開けるようになった場合は**1**～**3**の手順で1つずつチェックを戻し、問題となる常駐ソフトウェアを特定し、問題となる常駐ソフトウェアのチェックを外した状態で使用してください。

対処2 ライティングソフトウェアが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフトウェア以外のライティングソフトウェアを全てアンインストールして下さい。
アンインストール方法はソフトウェアメーカーまたは、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

Q-3 DVDビデオを再生するとコマ落ちや音飛びが発生する。

対処1 DVD再生ソフトウェアの動作環境を確認し、動作環境に合うようにパソコン環境をアップグレードしてください。
※本製品はDVD再生ソフトウェアを添付しておりません。DVDビデオの再生には、別途DVD再生ソフトウェアをご用意ください。（Ulead社製ソフトウェアを優待販売特別価格にてご購入いただけます。詳しくは、左記【DVD再生ソフト等の優待販売について】をご確認ください。）

対処2 IDEの転送モードを確認してください。
「PIOのみ」に設定されている場合は「DMA」に変更してください。

Q-4 マイコンピュータ（または「コンピュータ」）で本製品のアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません」や「ファンクションが間違っています」と表示される。

対処 データが書き込まれていないメディアをセットしている場合は、このようなメッセージが表示されます。
書き込みを行いたい場合は、添付のライティングソフトウェアを起動し、書き込みをおこなってください。

DVD/CD書き込み時の問題

Q-1 「メディアをセットしてください」または「ディスクが空でないか、ドライブにディスクが挿入されていません」と表示され、書き込めない。

対処1 マイコンピュータ（または「コンピュータ」）で本製品が認識されているかどうか確認してください。
認識していない場合は左記「パソコン接続時の問題」⇒［Q-1］の対処を確認してください。

対処2 ライティングソフトウェアを起動し、書き込みドライブに本製品が設定されているかどうかを確認してください。

B' s Recorder GOLDの場合

対処3 ライティングソフトウェアが複数インストールされている場合は、本製品添付以外のライティングソフトウェアを全てアンインストールして下さい。
アンインストール方法はソフトウェアメーカーまたは、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

対処4 推奨メディアを使用してください。
（本紙表面の【動作環境の確認】内［推奨メディア］をご参照ください。）

Q-2 ライティングソフトウェアで書き込み中にエラーが発生したり、書き込みが正常に終了しない。また、希望の書き込み速度に設定できない。

対処1 ライティングソフトウェアが複数インストールされている場合は、本製品添付以外のライティングソフトウェアを全てアンインストールして下さい。
アンインストール方法はソフトウェアメーカーまたは、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

対処2 本紙表面の【動作環境の確認】を参照し、動作環境に合うようにパソコン環境をアップグレードしてください。

対処3 推奨メディアを使用してください。
（本紙表面の【動作環境の確認】内［推奨メディア］をご参照ください。）

対処4 IDEの転送モードを変更してください。
「PIOのみ」の場合は「DMA」に、「DMA」の場合は「PIOのみ」にしてください。

お問い合わせ

B's Recorder GOLD9 BASIC や B's CLiP で困ったら…

1 ソフトウェアのオンラインマニュアを確認する。
[スタート]メニューの[B.H.A]に登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://help.bha.co.jp/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー
テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く)
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エー社へのユーザー登録が必要です。
http://www.bha.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 や QuickDrive LE で困ったら…

1 本紙表面の【2.設定しよう】、【3.接続しよう】を参照し、設定などを確認する。
※「QuickDrive LE」についてはオンラインマニュアルを確認します。
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[金沢] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[金沢] 076-260-3360
[受付時間] 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

修理について

修理を依頼される前に、以下の事項をご確認ください。

●**お客様が貼られたシールなどについて**
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●**修理金額について**
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。)

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の手順で行ってください。

1.メモに控え、お手元に置いてください。
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

2.これらを用意してください。
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
・返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]　・日中にご連絡できるお電話番号
・ご使用環境(機器構成、OSなど)　・故障状況(どうなったか)

3.修理品を梱包してください。
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

4.修理をご依頼ください
■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトウェアについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
■書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
■DVD±RW、DVD-RAM、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
■「B' s CLiP」はCPRMに対応しておりません。

地域コード(リージョンコード)について
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/